

2 スマートフォン/タブレット用ガイド



別紙「①設置ガイド」で設置した後、本紙をお読みください。

ネットワークカメラ

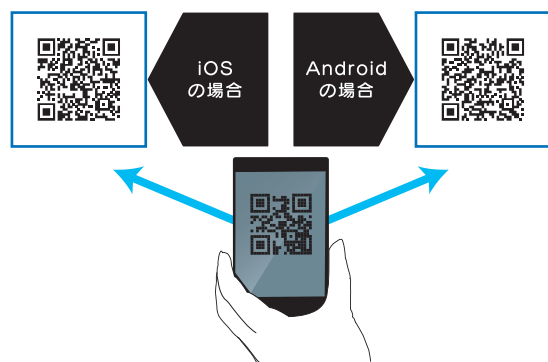
TS-WRLC

M-MANU201462-02

準備 1 アプリをインストールする

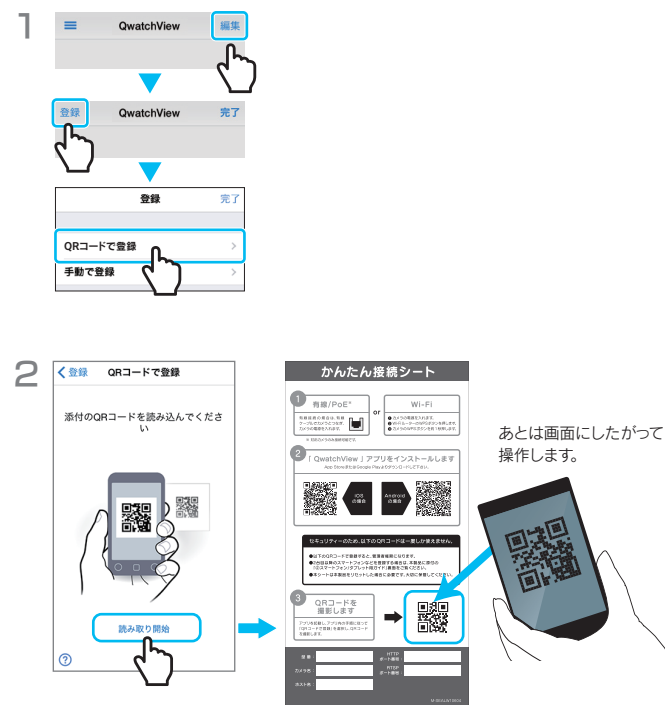
カメラアプリ「QwatchView」（無料）をインストールして利用します。
※「QwatchView」は最新版をご利用ください。

- 以下のQRコードを読み込むか、AppStoreまたはPlayストアで「QwatchView」を検索してインストールする



次に、右記「本製品を登録し、アクセスする」へお進みください。

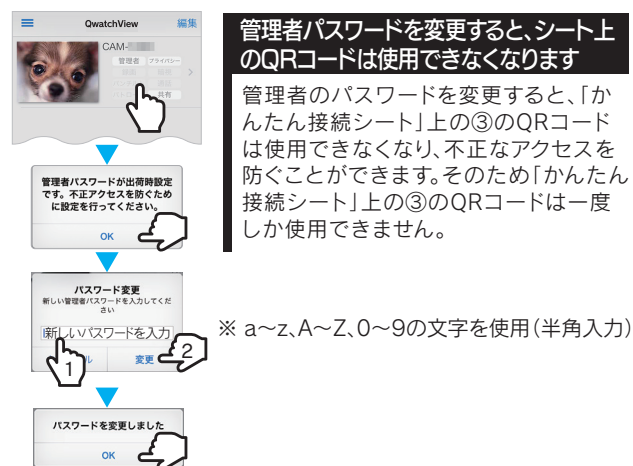
準備 2 本製品を登録し、アクセスする



iPhone/iPad/iPod touchの場合

証明書のインストールを求められます。画面の指示にしたがって操作してください。

3 セキュリティのため、管理者パスワードを変更する



4 カメラ名をタップすると、映像が表示されます



- ※ ピントは、本製品のピントリングを回して合わせてください。
- ※ 映像が表示されない場合は、別紙「必ずお読みください」の「Q&A」をご覧ください。
- ※ 別紙「①設置ガイド」で無線接続設定が完了していない場合は、本紙裏面「手動で無線接続の設定をする方法」をご覧ください。
- ※ 本製品を壁に取り付ける場合やスタンドの取り付け方法については、別紙「①設置ガイド」裏面をご覧ください。

以上で本製品をご利用いただけます。

準備 3 2台目以降のスマホ/タブレットに本製品を登録する場合（共有）

2台目以降のスマートフォン/タブレットに本製品を登録する場合や、本製品を家族などと共有して利用する場合は、新しいQRコードを作成して配布すると、簡単に本製品を登録することができ便利です。必要に応じて本手順をご覧ください。

※ 添付の「かんたん接続シート」上の③のQRコードは、2台目以降のスマートフォン/タブレットには使用できません。

※ 2台目以降のスマートフォン/タブレットはユーザー権限のアカウントで登録します。本製品には初めから管理者権限とユーザー権限のアカウントが1つずつ設定されています。アカウントについて詳しくは、本紙裏面「アカウントについて」をご覧ください。

① QRコードを作成し、配布する

1台目のスマートフォン等でQRコードを作成し、2台目以降のスマートフォン等（利用者）に送ります。

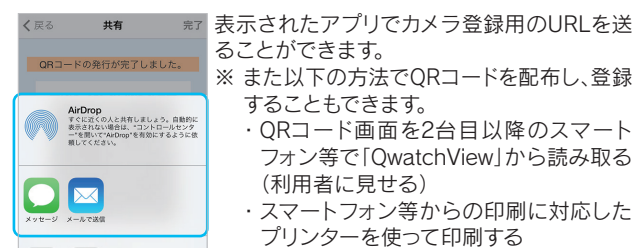
- ① 1台目のスマートフォン等から本製品の映像を開く
- ② [共有]を開き、[このカメラを共有する]をタップ



2 共有ボタン(共有アイコン)をタップ



3 メッセージなどのアプリを選択



4 宛先を選択し、送信する



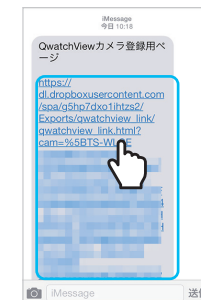
右記「②カメラを登録する」へお進みください



② カメラを登録する

受け取ったURLで、カメラを登録する手順を説明します。

- 受け取ったメッセージを開き、表示されているURLをタップ



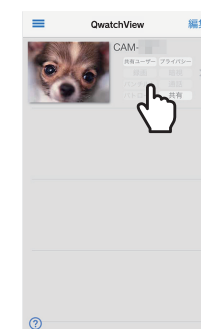
- ① QwatchViewのインストールがまだの場合は、QwatchViewのダウンロードボタンをタップ
- ② [カメラを登録する]をタップ



3 [OK]をタップ



4 映像が表示されたことを確認



※ 「共有ユーザー」と表示されます。使用権限はQRコードを作成した際に選択したアカウントと同じです。また共有ユーザーで登録したカメラは他のアカウントに変更できません。

以上で本製品の登録は完了です。

QwatchViewの画面について

カメラ名

カメラの名前を表示します。

メイン画面に戻る

カメラの切り替えや新規登録、カメラの詳細設定等がおこなえます。

※ Android端末の場合: 端末の戻る(←)ボタンを押すとメイン画面に戻ります。

マニュアル

QwatchViewの「画面で見るマニュアル」を表示します。

▼メニュー

メニューを左右にスワイプして選択(タップ)します。選択したメニューの操作ボタンが下に表示されます。

※ ユーザー権限により操作できる機能は異なります。操作できない機能はグレー表示になります。

※ 各メニューの操作について詳しくはQwatchViewの「画面で見るマニュアル」をご覧ください。(?) をタップして開きます)

メニュー	操作ボタンと概要				
ライブラリ 	LAN DISKをタップすると、LAN DISK保存されたデータを確認することができます。 ※ 事前に本製品の設定画面から[保存設定] → [LAN DISK保存設定]の設定をしておく必要があります。 ※ LAN DISKに保存したデータは同じネットワーク内からのみ再生できます。 ※ iOS端末でLAN DISKに保存したファイルを再生する場合は、「QrecView」アプリをインストールする必要があります。詳しくはQwatchViewの「画面で見るマニュアル」をご覧ください(?) をタップして開きます)。				
録画  保存先 録画形式	保存先と録画形式を選択し、アイコンをタップすると映像を撮影することができます。 ■ 保存先 <table><tr><td>ローカル</td><td>端末のカメラロールやピクチャ等に保存します。(静止画のみ撮影できます。)</td></tr><tr><td>LAN DISK</td><td>カメラの設定画面の[保存設定] → [LAN DISK保存設定]の設定をしておくと、表示されます。</td></tr></table> ■ 録画形式 タップすると静止画⇄動画を切り替えます。	ローカル	端末のカメラロールやピクチャ等に保存します。(静止画のみ撮影できます。)	LAN DISK	カメラの設定画面の[保存設定] → [LAN DISK保存設定]の設定をしておくと、表示されます。
ローカル	端末のカメラロールやピクチャ等に保存します。(静止画のみ撮影できます。)				
LAN DISK	カメラの設定画面の[保存設定] → [LAN DISK保存設定]の設定をしておくと、表示されます。				
パンチルト	本製品ではご利用いただけません。				

現在のアカウントのユーザー権限

現在のアカウントのユーザー権限を表示します。タップすると、アカウントの変更がおこなえます。

ライブ

カメラの映像を表示します。

画面をダブルタップすると、拡大⇄通常サイズを切り替えます。

管理者メニュー

選択しているメニューの設定画面が表示されます。

※ 管理者用アカウントでログインしている場合のみ表示

メニュー	操作ボタンと概要
モード 	プライバシーモードでは、カメラ映像を表示したくない場合、暗転にすることができます。タップするとプライバシー機能をオン/オフします。 ※ 事前に本製品の設定画面でプライバシー機能を[有効]に設定しておく必要があります。 ※ パトロールおよび暗視機能は本製品ではご利用いただけません。
通話	本製品ではご利用いただけません。
共有 	2台目以降のスマートフォン/タブレットを登録する場合や、カメラを家族や知人などと共有して利用する場合に、本製品を簡単に登録するためのQRコードを作成し、メールなどで配布することができます。 本製品に接続可能な期間(日時や曜日)を設定することができるため、映像を公開する際に便利です。 作成したQRコードは利用者のスマートフォン等で登録します。 ※ 本紙表面「準備3」をご覧ください。
設定 	■ IPカメラの設定画面を開きます 本製品の設定画面を開きます。 ■ アカウントの編集 ユーザー権限のアカウントを作成/編集することができます。またユーザー権限のアカウントごとに、利用できる機能を制限(編集)することができます。

手動で無線接続の設定をする方法

WPSボタンを使わずに、本製品を無線LANルーターへ接続する場合は、以下の手順で接続してください。

※ 事前に無線LANルーターのSSIDと暗号キーを控えておいてください。

- ① 管理者権限のアカウントでログインしているスマートフォン等から本製品の映像を開く
- ② [設定]→[IPカメラの設定画面を開きます]をタップ
- ③ [基本設定]→[無線設定]をタップ



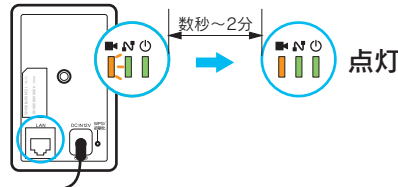
- ① [無線LAN機能]で[有効]を選択
- ② [検索]をタップ
- ③ 接続するルーターのSSIDを選択
- ④ 接続するルーターの暗号キーを[プレシェアドキー]に入力
- ⑤ [設定]をクリック



無線LANルーターのSSID、暗号キーの確認方法

初期値は無線LANルーター本体に記載されています。ご不明な場合は、無線LANルーターの取扱説明書またはメーカーにお問い合わせください。

- ① 本製品からLANケーブルを外す
- ② ACCESSランプ()が点滅→点灯になるまで待つ



ACCESSランプが点灯にならない場合

ご利用の無線LANルーターの暗号化方式をご確認ください。無線LANルーターの暗号化方式が「WPA2-PSK(TKIP)」や「WPA-PSK(AES)」の場合は、無線LANルーター側の設定で「WPA2-PSK(AES)」 「WPA-PSK(TKIP)」 「WEP(64bit/128bit)」のいずれかに変更してから本手順をお試しください。

以上で設定は完了です。

ライブにもどり、カメラの映像が見えることをご確認ください。

映像をLAN DISKに保存する方法

本製品の設定画面にて保存先を登録し、映像を保存することができます。必要に応じてご利用ください。

※ 動作確認済みLAN DISKについては、右のQRコードを読み込むか、以下のURLよりご確認ください。

<http://www.iodata.jp/pio/io/lancam/lancam.htm>



- ① 管理者権限のアカウントでログインしているスマートフォン等から本製品の映像を開く
- ② [録画]を開き、管理者メニューアイコン  をタップ
- ③ [LAN DISK保存設定]をタップ
- ④ 各項目を設定



項目	設定内容
ステータス	LAN DISKの接続状態を表示します。
保存場所 (LAN DISK)	保存先LAN DISKのIPアドレスとフォルダー名を入力します。 (\\IPアドレス\\共有フォルダー名\\(フォルダー名)) ※ サブフォルダーを利用しない場合は、3番目の(フォルダー名)を消して空欄にしてください。 ※ 保存先フォルダー名は半角英数字としてください。
録画容量不足の通知	[有効]にすると、録画容量が足りなくなった場合に、メールでお知らせします。 ※ あらかじめ[メール設定]を設定してください。 メール設定は設定画面の[基本設定]→[メール設定]でおこないます。
録画の自動停止時間	選択した時間が経過すると自動的に録画を停止します。[指定なし]を選択すると、録画停止ボタンをクリックするまで録画を続けます。
連続録画	[有効]にすると、連続で録画します。容量が足りなくなった場合、古い録画ファイルを消して(上書きして)、録画を続けます。
1ファイル当たりの最大サイズ	1ファイルに保存できる最大のファイルサイズを選択します。
LAN DISKへの最大保存サイズ	複数のカメラの映像を1台のLAN DISKに録画する場合に設定します。LAN DISKの空き容量を超えないように設定してください。
アクセス制限	[制限あり]: 保存先LAN DISKの共有フォルダーにアクセス制限を設定している場合に選択します。 [制限なし]: 保存先LAN DISKの共有フォルダーにアクセス制限を設定していない場合に選択します。
ユーザー名 パスワード	アクセス制限を[制限あり]にした場合、LAN DISKに登録したユーザー名とパスワードを入力します。

- ② [設定]をタップ
- ② [ステータス]が[接続]になっていることを確認し、[完了]をタップ ⇒ ライブ画面に戻ります。
- ③ ① [ローカル]をタップし、[LAN DISK]に切り替える
② 動画を録画する場合は、[静止画]をタップし、[動画]に切り替える

以上で準備は完了です。撮影したいタイミングで  をタップしてください。

アカウントについて

本製品には初めから管理者権限とユーザー権限のアカウントが1つずつ設定されています。添付の「かんたん接続シート」上のQRコードでカメラを登録すると、管理者権限になります。

権限	ユーザー名	パスワード	使用権限
管理者	admin	本製品のMACアドレス(初期値)※	本製品のすべての機能が使用できます。本製品の管理者がご利用ください。
ユーザー	IO-CAM	設定されていますが、確認することはできません。	本製品の設定画面以外のすべての機能を操作できます。(初期設定)

※ セキュリティーのため、「QwatchView」で初めてカメラ映像を表示するときに、パスワードの変更が必要です。

アカウントごとに使用権限を変更することができます

例えば、本製品への接続可能な期間(日時、曜日)を限定して、本製品の映像を公開することができます。QwatchViewの[設定]→[アカウントの編集]メニューから設定します。詳しくはQwatchViewの「画面で見るマニュアル」をご覧ください。(?) をタップして開きます)

2台目以降のスマートフォン/タブレットも管理者権限で使用する場合QRコードは使用せず、手動で本製品を登録してください。詳しくはQwatchViewの「画面で見るマニュアル」をご覧ください。(?) をタップして開きます)